＜先週の説教から＞

『ヘブライ㉗ー遺言が効力を持つ時』

武田　真治　牧師

出エジプト　２４：３～１１　ヘブライ書　９：１５～２８

聖書は英語で、バイブルと言われる場合が多いですが、正しくはオールド・テスタメントとニュー・テスタメントと呼びます。このテスタメントという言葉は“契約”という意味もありますが、もう一つ“遺言”という意味もあります。実は原文のギリシア語のディアセーケーという言葉でも同じです。そのことが今日の箇所でよく出ています。「こういうわけで、キリストは新しい契約の仲介者なのです」と“契約”について言われた後で、すぐに「遺言の場合には、遺言者が死んだという証明が必要です」と“遺言”という言葉が出てきますが、この二つは原文では同じディアセーケーで、日本語訳ではわかるように訳し分けているだけなのです。その上で著者が示したい点が次の「キリストが死んでくださったので、召された者たち（＝私たち）が、既に約束されている永遠の財産（＝まさに遺産）を受け継ぐためにほかなりません」という事実であり、この点を強調しようとしたいのです！

以上のことを説明し直しているのが 18 節以下と言い得ます。即ち「最初の契約もまた、血が流されずに（＝死ぬことなしに）成立したのではありません」でしたと。“血を用いること”は、“命は血の中に存在する”という聖書を貫く信仰から来ています。血液が流れ出てしまえば人間は死を迎えるからです。故に、“血を振りかける”ことで、自分たちが命を掛けていることを示したのでした。命を掛けて神様を信じ、神様に向かって信じることを誓い、それ故に“罪の赦し”を願ったのでした。しかし、どうでしょうか、そこで用いられた“血”は何であったかと言えば、「若い雄牛と雄山羊の血を取って、契約の書全体と民全体に振りかけ」るものでした。小羊や山羊などの動物を殺して、その血を用いて行う儀式が果たして、自分たちが命を掛けていることを示す行為となっているのでしょうか？　罪の赦しを願おうとして、その儀式を行う祭司や大祭司は、決して自らの血を流そうとはしていないのです。22 節に「血を流すことなしには罪の赦しはありえない」とあるように、罪を赦すためには（自らの）血を流す（＝犠牲にする）ことをしなければ出来ないことなのです。まさにイエス様は「ただ一度、御自身をいけにえと献げて罪を取り去るために、現れてくださいました」（26 節）。それが主の十字架です。自分の罪を自分では解決できない私たちの代わりに、イエス様が自らの“血を流してくださる”ことで“罪の赦し”を与えてくださったのです。これは簡単なことではありません。まさに「血を流すことなしには罪の赦しはありえない」のです。逆に言えば、私たちが自分に対して悪を働いた他者を“赦そう”と思うならば、実は私たち自身が“血を流す”程の痛みや苦しみを伴わなければ、その相手を赦すことが出来ないということなのです。“人を赦す”ことはそれほど大変なことだと知るべきでしょう！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．10 月 12 日（水）20：00
Ⅱ．10 月 13 日（木）10：30

聖　　書：　ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：　教育週間　10/16 大掃除を覚えて
担 当 者：　（水）相浦　（木）黒澤
祈りに覚える人：　村上さん　　森本さん
ハンナの会：　10 月 11 日(火)　10：30～

【教勢報告】

主日礼拝　　男　22　　女　68　　計　90
祈祷会　Ⅰ．男 5　女 2　計 7　　Ⅱ．男 1　女 11　　計 12
日曜学校　幼稚科　5　　小学科　10　　計 15

【次週礼拝】　１０月　１６日（日）

聖　書：　創世記　２２：１～１４
ヘブライ人への手紙　１０：１１～２２
説　教：　「ヘブライ㉙ ―御心に基づいて、
主の体が献げられた！」武田 真治 牧師
讃美歌：１２９(1)、３２(1)、４８１(1と2)、

【次週当番表】　３５６（1と2)、９０(1)

司式:金刺長老　　奏楽:須田　　礼拝:金刺長老
献金：藤林、北條　　受付：飯島　吉岡
会堂準備：小杉　富澤　長田　橋本
北條宏子
看板：曾我　　週報：吉岡　お花：羽倉

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：・大掃除・オリブの葉編集委員会・聖歌隊練習
・日曜学校教師会・幼稚園理事会

６３－４１

週　報

2022 年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年　　１０月　９日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/